

交通安全スローガン

高めよう! とちぎの交通マナー  
マナーアップ! あなたが主役です

全国重点

- 子供を始めとする歩行者の安全確保
- 歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上
- 自転車の交通ルール遵守の徹底と安全確保

令和4年 **春の交通安全**  
**県民総ぐるみ運動**  
4月6日(水) ▶ 4月15日(金)までの10日間

4月10日(日)は  
交通事故死  
ゼロを目指す日



ルリちゃん

きょう4月6日、県内の関係機関・団体による交通事故のない安全・安心な社会づくりを目指す運動がスタート!

企画・制作 下野新聞社営業局  
協力 栃木県警察本部



写真上=タクシーのバック  
ドアに「横断歩道は歩行者優  
先」の特製ステッカーを貼り、  
交通安全広報活動を展開。

写真右=右から県警の佐藤  
雅人交通部長、県タクシー協  
会の荒井勝会長、同協会所属  
の矢野自動車株式会社の矢  
野愛子社長。



「春の交通安全県民総ぐるみ運動」

期間中の統一行動日

- 4月 8日(金) 自転車の安全で適正な利用強化の日  
「飲酒運転根絶」強化の日
- 4月10日(日) 交通事故死ゼロを目指す日【全国統一】
- 4月13日(水) 「止まってくれない栃木県からの脱却」強化の日



「マナーアップ! あなたが主役です」を交通安全スローガンに、県内の関係機関・団体が交通事故のない安全・安心な社会づくりを目指す「春の交通安全県民総ぐるみ運動」が、6日(水)から15日(金)までの10日間行われます。運動期間中に設けられた統一行動日には、県内各地でさまざまな交通安全啓発活動が展開されます。

今春の運動の全国重点は、「子供を始めとする歩行者の安全確保」「歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上」「自転車の交通ルール遵守の徹底と安全確保」の3項目が設定されています。

特に、保育園・幼稚園の新入園児や、小学校の新入児童が通園・通学を始める4月以降に、幼児・児童の歩行中の交通事故が増えています。横断歩道では、信号が赤色のときは必ず止まり、青色のときは左右をよく見て、車が来ていないことや横断歩道の手前で車が停車したことを確かめてから渡りましょう。手を挙げるなど、しっかりと意思表示をして渡るよう指導をしたり、通園・通学する道路の安全点検を行うなど、地域ぐるみで子どもたちを守るよう心掛けることも大切です。

交通事故死ゼロを目指して

また、高齢者は、加齢に伴って生じる身体機能の変化(認知機能の低下、反射神経の鈍化、筋力の衰え等)を理解し、夜間や薄暮時間帯に道路を歩く際は目立つ色の上着を着たり、反射材を積極的に活用するなどして、自らの安全を守るよう心掛けましょう。交通事故のない社会を実現するために、歩行者もドライバーも交通安全意識を高めて交通ルールをしっかりと守ることが求められています。

自転車の安全利用を促進

栃木県では、自転車事故の防止や被害者の保護を図るため、県及び自転車利用者の責務や県民・事業者等の役割、ヘルメットの着用、自転車保険への加入義務化等を規定した「自転車の安全で適正な利用の促進に関

- ① 自転車は車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを行く
- ④ 安全ルールを守る  
「飲酒運転・二人乗り・並進の禁止」  
「夜間はライトを点灯」  
「交差点での信号遵守」と一時停止・安全確認
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用

横断歩道では歩行者優先

春の交通安全県民総ぐるみ運動に合わせて、県民の交通安全意識を高める取り組みが始まっています。信号機のない横断歩道での一時停止率向上を目指して「止まってくれない栃木県からの脱却キャンペーン」を展開している県警本部では、3月30日、このキャンペーンに協賛している県タクシー協会と共に、「横断歩道での歩行者優先」をテーマとした交通安全スローガンを県内の会員事業所のタクシーに貼り、県民の交通安全を向上させる活動をスタートさせました。



ルリちゃん、とちまるくんに見送られ広報タクシーが発



交通事故のない **安全・安心なとちぎ** を目指します

